

テロ対策東京パートナーシップ

警視庁では、事業者、地域住民、東京都などの行政機関と連携し、「テロを許さない社会づくり」「テロを許さない街づくり」をスローガンに、官民一体となったテロ対策を推進しています。

新しい広報啓発ポスターが発表されました！



警視庁では、毎年、「テロ対策東京パートナーシップ広報啓発ポスター」を制作しています。

今年は、2045年の東京を、テロから守るという内容のアニメ「攻殻機動隊 SAC 2045」が採用されました。

美しい東京の夜景を背景に、テロに立ち向かう主人公の力強い表情とともに、テロを許さない街づくりを呼び掛けるデザインとなっています。

「いつもと違う！」と感じたら迷わず110番

災害（大雨や台風）から身を守ろう

～大雨が降り出したり、台風が接近してきたら～

① 情報を収集する

テレビやラジオのほか、気象情報を確認するとともに、自治体からの避難情報が発令されていないか確認しましょう。

② 外出を控え、危険な場所には近づかない

例：屋根の修理✕
田畑や河川、海の様子を見に行く✕

③ 万が一を考え、早めの避難をする

避難所への移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物へ移動しましょう。

例：高い建物。河川から離れた建物

建物内の山（崖）から離れた場所、部屋は1階より2階へ。

警戒レベルを確認！

チェック

警戒レベル1→早期注意情報
（災害への心構えを高める）

警戒レベル2→大雨・洪水等注意報
（自らの避難行動を確認）

警戒レベル3→高齢者等避難
（危険な場所から高齢者等は避難）

警戒レベル4→避難指示
（危険な場所から全員避難）

警戒レベル5→緊急安全確保
（命の危険、直ちに安全確保）

自治体が作成しているハザードマップ等を見て、危険箇所、避難場所等がどこにあるのか、確認しておきましょう。

☞ ハザードマップは各自治体のホームページ等で確認できます。

一つ一つの備えが、災害から身を守る盾になる！